

群馬県の親子  
が高沢山からの  
下山で遭難。4  
日後に発見され  
た。この年は雪  
が多く、残雪で  
倒された笹のた  
め、そちらを道  
と勘違いした。

ピーク

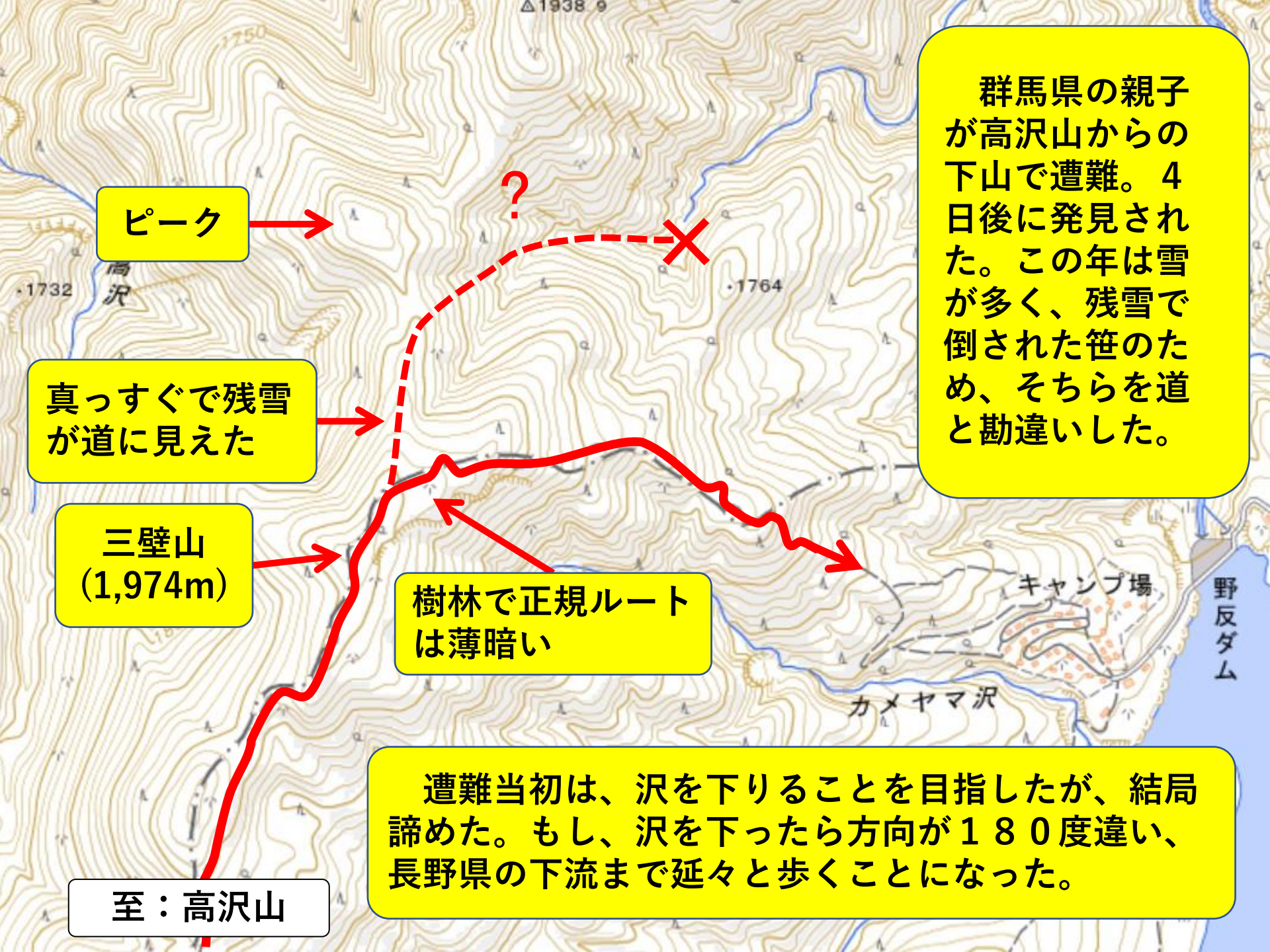
真っすぐで残雪  
が道に見えた

三壁山  
(1,974m)

樹林で正規ルート  
は薄暗い

至：高沢山

遭難当初は、沢を下りることを目指したが、結局諦めた。もし、沢を下ったら方向が180度違い、長野県の下流まで延々と歩くことになった。



高沢山～三壁山～野反湖のルートはハイキングコースになっている。三壁山山頂は標識があり、現在位置を確認できる。では、ここで大切なことは何だろうか？道迷いを防ぐ方法は、「ルートの先読み」をすることである。

「先読み」とは、

- ①三壁山から〇〇m進んだら、尾根の分岐がある。（今回は残雪期で登山道は見えていないが、注意しようという意識が大切。）
- ②尾根の分岐で進行方向は、東北東へ変わる。（コンパスで確認をしたい）
- ③尾根分岐を間違えて進んだ場合、ピークが出てくるので「戻ろう」

特に③の「もし、〇〇が出てきたら道を間違えている」という先読みは、考えられる道迷いを防止する効果があり、実践してもらいたい。

ルートが違うと思ったら、「戻る勇気が必要ではなく、戻る以外に道はない」と常に考えてほしい。